
戦いが終わるまで…

斎藤 レン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

戦いが終わるまで…

【Z-コード】

N1060A

【作者名】

斎藤 レン

【あらすじ】

時は20XX年主人公、高遠陽一とアリスの戦争から和平までの道程を描いた作品。

(前書き)

この作品が自分の「一作品」になります。どうか生温ご丁で批評して
やつてください。お願いします (ーー) m

俺の名は高遠陽一。

そして彼女の名はアリス。

俺たちは今戦地にいる。

時は20XX年

アスレス帝国と倭寇国は戦争することになった。

俺は陸軍兵士としてアスレスに向かつた。そこで不覚にも俺は銃弾に当たってしまった。

気がついて見ると、そこはビザラの軍でもなく、両国で平和を望む人達によって結成されたフリーダム連合の基地だった。

そこで俺を看病していくのが他でもないアリスだった。

俺はアリスの誘いでフリーダム連合に加わった。

といつても元から俺も戦争を望んでいなかつたので、話を聞いた時にはすでにに入る気でいた。

そしてしばらく経ち、俺はとうとう重要な任務を任せられた。

その任務とは、アスレス帝国と倭寇国との休戦協定を結ぶよう尽力した、フリーダム連合の長、マキシミリアン隊長の護衛である。隊長は今からその会談がある基地に行こうとしているが、この会談を良く思っていない激戦派の奴等に襲われる危険性があるかもしれないと言う情報が入つたので万が一を考えて俺とアリスが護衛につけた。俺たちは出発前に身支度を整えるために武器庫へむかつた。武器をチェックしている時にアリスが話しかけて來た。

『何故かこの任務嫌な予感がするの。陽一はどう?何か感じない?』

『気のせいだつて。心配ばつかしてると任務に支障を来すぞ』

しかしこの時アリスが思つていた不安は的中してしまつことになつた。

隊長が殺されたのである。

会談は実は罠だつたのだ。

アスレス帝国と倭寇国は休戦など考えていないく本当の目的は、マクシミリアン隊長の暗殺だったのである

俺とアリスは何とか生き延びることができたが隊長を失った事は大きすぎる痛手だった。

隊長を失った俺たちの組織は女王蜂のいなくなつた蜂の巣のように解体してしまつた。

気付けば残つたのは俺とアリスそしてわずかな新人兵士数名だけだつた。

俺たちはこの人数で再び組織を組んだ。

たとえ人数が少なくなるとも隊長、そしてこの戦争で犠牲になつた尊い命のために、尽力しなくてはならない。

『アリス。これからはさらにつらい事が待ち受けているかも知れない、それでもこの戦いを早く終わらせなければならない、一緒に戦つてくれるかい?』

『あたりまえじゃない。

私たちずっと一緒にいたじゃない。

これからもずっと一緒によ。』『ありがとう。アリス…』

『陽一…』

そしてこれからも一人の戦いは続く。
この戦いが終わるまで…。

完

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1060a/>

戦いが終わるまで…

2010年10月21日21時15分発行